



岩手医科大学・歯学部 オープンリサーチ・プロジェクト

平成 20 年度 第 2 回セミナー

Open Research Project

Iwate Medical University School of Dentistry

2007-2011

遺伝性疾患における歯の異常とその多様性

2008 年 11 月 14 日 (金)

午後 6 時から

歯学部 6 階 第 4 講義室

講師： 東京医科歯科大学 大学院 顎顔面矯正学分野

講 師 須田 直人 先生

講演要旨

組織形態や大きさの決定にあたり、重力や筋力といった外的因子の影響を受けやすい骨・軟骨と比較して、歯は遺伝的要因の関与が大きいと考えられる。そのため種々の遺伝性疾患においても、しばしば歯数や歯冠・歯根形態の異常が随伴される。一方、遺伝子配列が同じ一卵性双生児において、歯数に違いがみられることがある。また、同一家系内の単一遺伝性疾患に罹患した患者間で歯の異常に差がみされることもある。

近年、copy number variation や epigenetic regulation など、新たな遺伝学的概念が生まれている。そこで今回のセミナーでは、遺伝性疾患における歯の異常とその多様性に関して、遺伝医学的側面から考察を加えていく。

司会者：口腔解剖第 2 講座

原田 英光
内線 4528